

# 同人誌制作活動の背景とあゆみ —30年間の活動を振り返って—

龍谷大学文学部 井上 学

inouebus@let.ryukoku.ac.jp



# 高橋先生からの依頼・質問(要約)

- ① コミケで出版物の販売を続けておられる理由は何か  
学生時代のサークルや同人誌などの活動が端緒と考えてよいか
- ② 出版社からの著書の発刊や論文の執筆と並行しての活動と同人活動  
どのような形で執筆・発表の機会を使い分けておられるか
- ③ コミケや文学フリマは農産品でいうマルシェのような役割を持っていると想定  
実際はどのような役割を果たしていると考えるか  
文学フリマへの出店予定がない理由は
- ④ 今後の見通し、特に研究活動との関連をどのように捉えているか

# 自己紹介

- 研究の専門は「交通地理学」
- 子どもの頃から鉄道が好き(主に乗車)
  - ・バスは大学生になってから本格化(趣味というより研究)
- コミックマーケット(コミケ)参加歴
  - 初参加：1992年冬 サークル参加(立命鉄研)：1993年夏
  - 個人サークル参加：1995年冬(落選)⇒1996年夏(初当選)
  - 以降 現在までサークル参加(何度か落選・落選の場合は一般参加)
  - 参加ジャンルは一貫して「バス」



# 同人誌と即売会

■ 同人誌:個人やグループで執筆・編集・発行した自主制作物・ISBNなし

※自費出版物でも出版社が発行・ISBNありは一般書籍と考える

ZINE(ジン):日本における用語の拡散・普及は体感で2000年代末-10年代ではないか

⇒同人誌は自己表現手段のひとつ

誰かに表現を伝えたい:回覧・掲示・頒布など

■ 同人誌即売会

・自己表現の発表の場・多様な表現と接触する場

・表現手段は本とは限らない

コスプレ・グッズ・CD・DVD・データDLなど

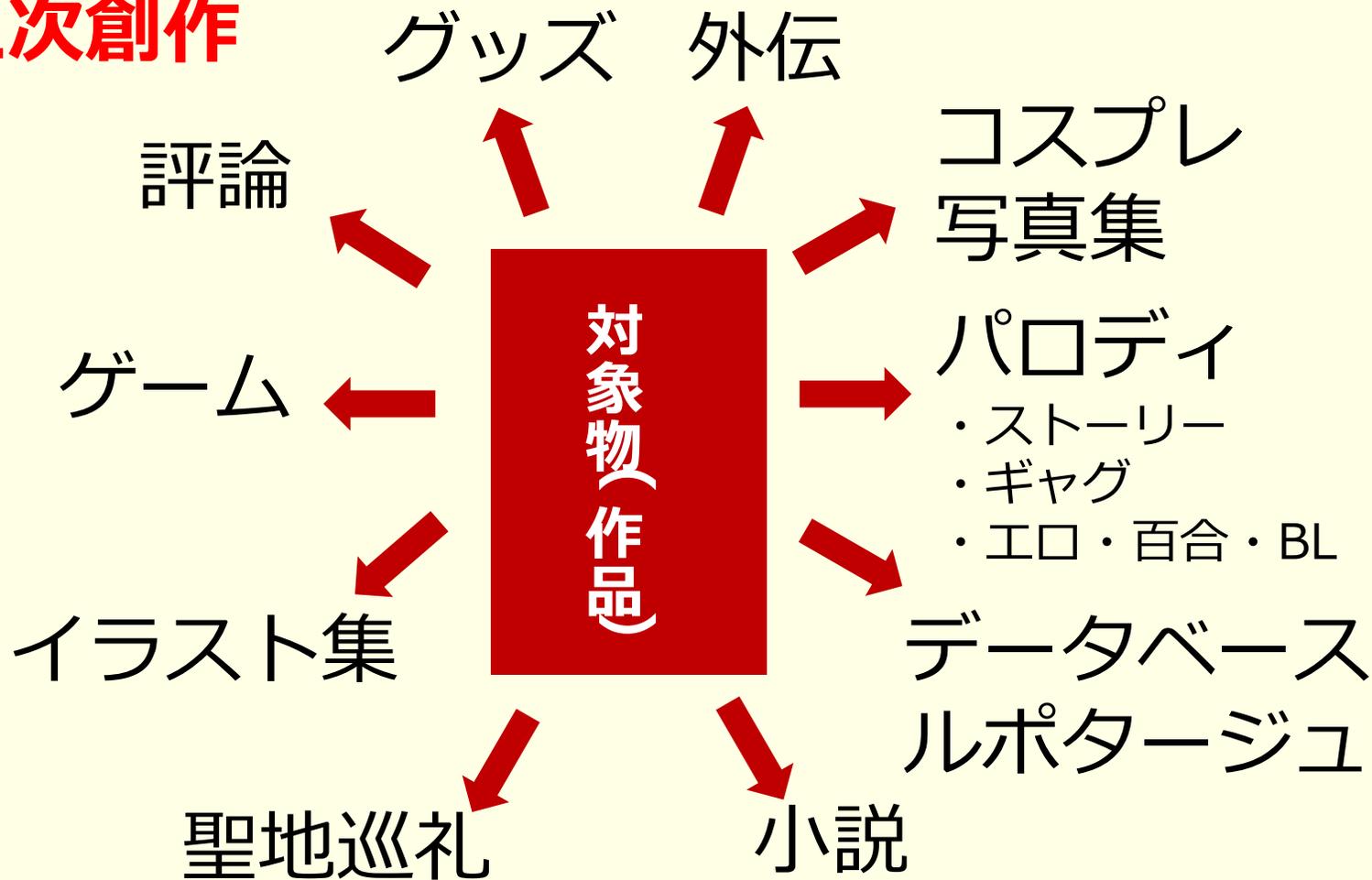
・世界最大規模の同人誌即売会⇒コミックマーケット(コミケ)

※コミケ以外にも同人誌の即売会は多数ある

# 同人誌の種類

■内容は自由(自主規制はある)・二次創作やオリジナル・表現手法も多様

## 二次創作



## オリジナル

- ・小説
- ・マンガ
- ・ゲーム
- ・グッズ
- ・コスプレ

# 自己表現発表の場の形成史

- ・世界SF大会(1939-) 日本SF大会(1962-)
  - ・雑誌COM(1967-1973)：ぐら・こん(読者投稿コーナー)  
⇒同人グループが繋がったといわれている
  - ・日本漫画大会(1972-1981)
  - ・コミックマーケット(1975-) ・コミックシティ(1988-)
  - ・文学フリマ(2002-) ・こみっくトレジャー(2003-) ・おもしろ同人誌バザール(2016-)
- コミックマーケット 現在は8月お盆(夏コミ)と12月末(冬コミ)に開催  
ジャンルは多様：**すべての表現を受け入れる**  
⇒社会運動体(ムーブメント)から自由な表現の場/ハレの日へ(C84：2014夏)
- ・サークル参加者・一般参加者・スタッフ参加者・企業参加者の協力で運営  
※企業はC48(1995夏)初参加・C51(1996冬)以降常時参加
- 【参考】 C106(2025夏)サ23,000 参25万人 C97(2019冬)サ32,000 参75万人



# 同人誌と即売会の関係

## ■ 同人誌作家と商業誌作家の境界は曖昧に

同人誌作家を経て商業誌デビュー  商業誌の作者が同人誌を頒布  
商業誌自体も紙媒体だけではなくネット・アプリ限定配信も

- ・ SNSの発達によってコミケでの同人誌の探索行動も変化  
SNSでコミケ新刊の告知らコミケ参加・コミケ参加者が購入物をSNSで発信

## ■ 発表の場は即売会に限定されない

- ・ ネット通販やデータDL販売
- ・ 同人誌専門店での取り扱い(例：メロンブックス)

## ■ パロディと著作権

- ・ 企業の黙認や促進
- ・ 企業と同人誌制作者との共犯関係
- ・ 暗黙の了解

## ■ コロナ禍による変化

- ・ コミケの入場有料化と一般参加者の変化

# 同人誌と即売会の関係

## ■ 商業誌では成立しにくい内容やジャンルが同人誌で可能に

- ・ 商業誌での規制
- ・ 市場規模(マイナージャンル/メジャージャンルでも切り口がマイナー)
- ・ 商業誌よりもマニアックな内容
- ・ 同人誌だから発表できる内輪ネタ・楽屋落ち

## ■ 同人誌の市場規模(2020)

数十万件発注・数千万部印刷・800億円強

ネット環境の整備・オンデマンド印刷・DTPソフトの普及

⇒より制作しやすい環境に

## ■ 同人誌で大きな収入を得る人・団体もあるけれども多くは赤字と推察

# 私と同人誌の関り

## ■立命館大学鉄道研究会に入会(1992)

大学生協で販売されていた機関紙「ポイント」が入会の決め手(研究書だった)

### 会員の趣味は鉄道以外にも多彩すぎる環境

バス・餃子の王将・プロレス・マンガ・アニメなど

- ・土曜19時は部室で会員の多くが美少女戦士セーラームーンを見てから晩御飯へ
- ・新歓合宿クイズ大会で特撮やマンガ・アニメなどに私が明るいことが知られる

### ※美少女戦士セーラームーン：変身少女モノ

従来は魔法少女のカテゴリー ⇒スタジオぴえろの魔法少女シリーズ

セーラームーンは「戦う魔法少女」という点が画期的 **現在のプリキュアシリーズにつながる**

- ・**セーラームーンの新規性の高さがアニメに関心のない鉄研会員を惹き付けた**
- ・新歓や学園祭の立看・ポスターもアニメやマンガのカラーージュ
- 他には政治ネタのパロディ

※漫画研究会：当時は創作のみ(アニパロ不可)

# 私と同人誌の関り

## ■ O氏(1988入学)：専門はロシア研究

- ・ コミケに参加・自宅は同人誌の山・アニメ好き(魔法少女)

## セーラムーンを会内で広める

- ⇒アニメに関心がなかった多数派からの支持者・会内はセーラムーンブームに  
※アニメやマンガに苦い顔をする人はこれより前にも会内に一定数存在

## ・ 私はO氏の下宿で作品鑑賞・同人誌の世界・コミケを知る

KBS京都の再放送：毎朝特撮番組を見て大学へ

「姫ちゃんのリボン」(1992-93)「機動戦士Vガンダム」(1993-94)

「魔法騎士レイアース」(1994-95)「愛天使伝説ウェディングピーチ」(1994-96)

「あずきちゃん」(1995-98)「新世紀エヴァンゲリオン」(1995-96)

⇒ビデオに録画・後にLD・DVD購入

雑誌やムック本・LDのライナーノーツ・同人誌から作品理解の深化

# 私と同人誌の関り

## ■立命館大学鉄道研究会

研究テーマに沿って成果を機関誌で発表(オフセット印刷)

書籍の輪読や現地調査・アンケート調査・事業者への聞き取りなど

毎月会内誌を作成(自由論題・旅行記・収集品解説・バス・写真作品)

⇒印刷費節約のため輪転機・写真作品集は青焼きも

・出版物のノウハウを吸収

## ■コミケ C42(1992夏)：猛暑で灼熱地獄と参加者から聞くも

**C43(1993冬)に初参加**：一般参加

鉄研はサークル参加だが君は初回なので一般参加でと先輩から指示

※サークル参加(3人：当時)は並ばずに入場⇒人気サークルに早くに並べる

## ■ 大垣夜行で新橋へ(徹夜は禁止)

徒歩で会場(晴海)へ⇒行列で待機・会場は10時

- ・ 事前にカタログ(参加サークル一覧表・1コマカット掲載・内容は自由)  
⇒目当てのサークルをチェック

0氏よりサークルカットの判断方法・大手サークルはA館へなど助言を受ける

- ・ 会場後 A館で0氏と遭遇

閉会後の集まりでコミケへの熱意(鉄研では「気合い」)を認められる

- ・ C44(1993夏)より私が鉄研の申し込み責任者に(記入ミス=落選なので責任重大)

※参加費はサークルチケット保持者で折半

あくまでも自主的な会誌頒布活動のため原則自己負担

⇒目当ての同人誌をより早く入手・より多くのサークルを回れることとのバーター

# 鉄道系サークルと立命鉄研 -コミケの関り-

## ■ 鉄道島：コミケジャンルのひとつ(バスも含む)

C60(2001夏)：ジャンルコードに設定

- ・ C32(1987夏)鉄道系サークルがコミケに初登場

「Factory・みきすと」

※C29(1985冬)都っケミコ(バスサークル) ⇒現在も「都バス資料編纂委員会」で参加

- ・ C30(1986夏)コミケットトレイン運行開始(-2008夏)

- ・ C33(1987冬)鉄道島誕生 「NIAGARA ENTERPRISE」初参加：京都のバス

- ・ C36(1989夏)名工大鉄道研究会：鉄研初参加

立命鉄研有志(公式参加ではない)

- ・ **F氏(1986)の存在**：専門は離島航路

コミトレ主催者のひとり・立命鉄研コミケ参加のきっかけをつくる・O氏コミケ参加のきっかけをつくる

# 立命鉄研とコミケの関り

- 機関紙ポイント：オフセット印刷のコスト圧縮が当時の課題
  - ・ 大学生協や旭屋・書泉グランデで販売し印刷費を少しでも回収
  - ・ OB会設立の主目的は機関誌発行の赤字補填
- コミケサークル参加・大学生協や旭屋・書泉グランデでも販売
- コミケのサークル参加は販路の拡大(表向き)
- サークル入場したいアニメ好き会員(ホンネ)
  - 「文句があるなら他の販路を提案してね」で反対派を説得
- ・ 印刷コストを抑制するため1991年から試行錯誤
  - ワープロ打ちした文章をレイアウト用紙に貼り付け
  - ワープロの導入によるレイアウト作業の軽減
  - ワードによる文章の作成 Lotus1-2-3による図表作成などなど

# 私の大学入学までのバックグラウンド

## ■子どもの頃から鉄道が好き

図鑑・ケイブンシャの本・学研の本・時刻表・鉄道ジャーナル

・高校1年生：JR完乗

・テレビアニメや特撮ドラマを見続ける ※夕方は再放送ばかりの時代  
小3から少女雑誌を愛読

なかよし→りぼん→別冊マーガレット→ぶ〜け→花とゆめ・少女コミック

高校の部活：パソコンやマンガ・アニメなどが部内で流行

MADテープ トップをねえ！（1988-89）

## ■大学入学前にインパクトを与えた作品

・F氏(1986)：魔法の妖精メルシャ(1984-85)

・O氏(1989)：めぞん一刻(1986-88)

・私 (1992)：ふしぎの海のナディア(1989-90)

# 鉄研活動と動画研の入会

- 1994年末ごろ立命館大学で「動画研」のチラシを見て連絡・入会  
特撮・ロボットアニメ・少女アニメ・ゲームなど多彩な人材  
⇒冊子「せゝらぎ」作成・学内配布

- ・ 大学卒業後も定期的に交流  
PCゲーム・アニメOP集の作成
- ・ コミケ・同人誌を紹介
- ・ 後に消滅するも結成時のメンバーとは現在もコミケ後に会うのが通例

## ■ 大学卒業後の動向

- ・ F氏(研究者)：同人誌編集・イベンター・聖地巡礼・アニメによる地域活性化
- ・ O氏(研究者)：同人誌・同人ゲーム購入
- ・ 私：同人活動をするもアニメ・マンガ・ゲームへの関心が大きく低下

# サークル参加の背景

- C48(1995夏)で私の担当が終了⇒後輩のY氏へ引き継ぎ
- ・ C49(1995冬)先輩N氏と「日本過疎バス友の会」サークル申し込み⇒落選
- ・ C50(1996夏)当選：コピー本頒布

## ■ 同人誌作成の背景

- ・ 文学部地理学科に所属するも卒論テーマが決まらない  
地理学とは何か理解していない・先行研究に関心がわからない
- ・ 1993年：先輩N氏と京都からバスでどこまで乗り継げるかチャレンジ  
バスがつかない区間は徒歩で可能か  
関西のバス研究サークルの存在：京大バス研・立命鉄研

# サークル参加の背景

- 京都-小浜を周山街道経由で可能な限りバスで乗り継いで移動できるか  
⇒堀越峠が繋がらない
- ・ 練習として乗り継ぎ+徒歩を実施  
八木-神吉(京都交通)…徒歩…下長野-周山(京北町営バス)周山-京都(JRバス)
- ・ 八木-神吉間：途中で寄り道する経路
- ・ 下長野-周山：途中で寄り道するうえに当該経路が路線図未掲載
- ・ **自由すぎる町営バスの世界を知る：路線バスの廃止と廃止代替バス研究のきっかけ**
- ・ 先輩N氏(法学部)廃止代替バスの制度についての卒論
- ・ 私の関心：赤字で廃止になったのに代替バスは誰が使うのか  
⇒卒論執筆のきっかけに・1994年から利用状況の調査に通う

# サークル参加の背景

## ■ 京北町でさらなる路線廃止と代替バスの運行

美山町：廃止代替バスが先行して運行

調査結果：町営バス利用者は主に高校生

⇒通学範囲の美山町と京北町を対象に調査・高校生アンケート

## ■ 他の地域でも廃止代替バスが運行中

少なくとも京都府内の実態を解明したい ⇒府内全市町村を訪問調査

## ■ 卒論は京北町・美山町の廃止代替バスの運行と利用実態の解明

⇒研究者としての研究テーマのきっかけ

### ・ 京都府内の状況

運行開始時期・運行開始前の事業者・調査時点での路線図と時刻表

⇒データがまとめられた本があったらほしい

**「自分が欲しい本は他に50人は存在するだろう」**

⇒バス系サークル同人誌作成のきっかけ：現在もこのコンセプト

# サークル参加の背景

## ■ 同人誌はニッチ・マイナーな対象でも成立する

- ・ 中山間地域のバスの本をつくろう
- ・ 社会人1年目：C50(1996夏)「明日も走るか」 50部・コピー本・完売に驚く  
C51(1996冬)「明日も走るか」印刷所に発注

## ■ 社会人2年目以降：廃止代替バス調査

滋賀県内では民間事業者に委託するため実態がわかりにくく調査に行き詰まる

- ・ C33(1987冬)から参加「NIAGARA ENTERPRISE」  
Y氏：京都市バスの同人誌を発行・立命鉄研と知り合い・京大バス研メンバー  
アニメ・コスプレ・特撮 日本SF大会に造詣が深い  
Y氏との交流：バスの同人誌をやめると聞く  
⇒資料の引継ぎと京都市バスの本を出す了解を得る  
※一般的に同人誌制作に先行作成者への許諾は必要ないかもしれないが私は筋を通すことが必要と  
考えた

# 制作物の内容

- ・京都市交通局市バス系統一覽(C53：1997冬) サ22,000 参30万  
1997年時点の系統紹介1981年以降の系統の変遷も解説  
⇒市バスの路線が十分に理解：GISを使った市バス利用者分析研究の基礎に
  - ・京都市交通局市バス車輛一覽(C59：2000冬) サ23,000 参30万
  - ・2000年：大学院進学(-2007)
- オフセット本
- ・西日本JRバス路線廃止とこれまでの路線網の復原(2002)
  - ・京都市バス車両集(2012)(2018)
- コピー本・カラープリンター出力本
- ・自分の関心のあったバスの動向をまとめた冊子(BUS LINE)
- 2017年夏からオンデマンド印刷
- ・バス車両本・路線復原本・路線紹介本 路線復原本は研究成果から着想

# 同人誌と研究活動の関係

## ■ 研究活動と同人活動は相互補完の関係

- ・ データベース：資料としての興味⇒同人誌
- ・ 先行研究の文脈をふまえ研究目的にあわせたデータ収集⇒研究論文  
収集した資料から研究の着想  研究の手法から同人誌
- ・ 完全なデータでなくても同人誌として出せる気軽さ  
※できる限り完全を目指すけれども

## ■ パソコン通信・インターネット

- ・ 当時は情報収集が容易な時代になると歓迎
- ・ パソコン通信時代：同人誌のデータが鉄道フォーラムにすべてアップされる  
⇒ネットに情報をアップすることに対する疑問・慎重さに
- ・ インターネット：不完全データを即座に補完できる善意の世界は認識  
HPやブログは手をつけたものの情報は紙媒体で発信・収集が私の好み

# コミケのサークル参加を継続する理由

## ■ インターネット・SNSによる情報の発信・収集と同人誌

現時点では資料やデータベースなどは紙媒体で保存する必要があると考える  
⇒ネットの情報は永遠に保存されるのか不透明：紙媒体はまだ必要

### ・ コミケにおけるサークルチェックの変化

カタログで新規サークルを検討⇒会場で確認⇒周辺サークルもチェック

カタログ+SNSでサークルを検討⇒会場で確認

コミケの巨大化による巡回範囲の限界：SNSの活用・ネット頒布を意識

## ■ コロナ禍によるWEB会議の普及

**WEB会議は何かを生み出すことに不向きではないか**

- ・ コミケにおける対面接触の魅力  
業界の中の人やSNS中の人との出会い
- ・ 動画研後輩・鉄研先輩N氏との飲み会

両者の対面での会話から次の同人誌や研究の着想に

# 他の同人誌即売会への参加意向

## ■ コミケは世界最大規模だからこそマイナージャンルも成立

参加者の母数が多い

コミケはジャンルごとの当選率が同じになるよう申し込みサークル数に応じて調整  
鉄道島(C98 2020GW：中止)416サークル ⇒それでもマイナージャンル

## ■ 大学生時代に複数の地域イベントに参加

イベント自体を楽しむもので同人の頒布数を広げる目的では厳しい

- ・ 東京のりもの学会(1998-2007)

第10回：131サークル(直接参加125)・入場者数850名

## ■ イベントごとに特色ある思想

それに自分が合うか否かで参加が決まる

# 高橋先生からの依頼・質問(回答)

## ① コミケで出版物の販売を続けてる理由

学生時代のサークルや同人誌などの活動が端緒と考えてよいか

**大学生時代の出会いが大きい・祝祭空間が楽しい・SNSからの対面接触**

## ② 出版社からの著書の発刊や論文の執筆と並行しての活動と同人活動

どのような形で執筆・発表の機会を使い分けておられるか

**論文にならないけれども自分が面白いと思った内容を共有したい**

## ③ コミケや文学フリマは農産品でいうマルシェのような役割を持っていると想定

実際はどのような役割を果たしていると考えるか

文学フリマへの出店予定がない理由は

**同人誌は商業誌へのインキュベーターから相互補完関係に  
区分自体が無意味になる時代が来るかもしれない  
イベントの規模や思想の違い**

## ④ 今後の見通し、特に研究活動との関連をどのように捉えているか

**切り口が異なるので同時並行・研究に刺激を同人誌に刺激を与えたい**

# ありがとうございました

## 【参考文献】

- ・『おたくの本』別冊宝島104(1989)宝島社
- ・コミックマーケット準備会編『コミックマーケット30'sファイル』(2005)
- ・コミックマーケット準備会編『コミックマーケット40周年史』(2015)
- ・コミケットトレイン清算事業団『コミケットトレイン鉄風録』(2022)
- ・高志の民「コミックマーケットにおける「鉄道島」の形成と発展（所収:コミケットトレイン清算事業団『わたしの見たコミケットトレイン』）(2025)
- ・日本同人誌印刷業組合(<https://www.doujin.gr.jp/>)2025年11月5日閲覧
- ・コミックマーケット年表(<https://www.comiket.co.jp/archives/Chronology.html>) 2025年11月5日閲覧